

新「京（みやこ）・食育推進プラン」の数値目標

目指す姿		目指す姿の内容	項目	22年度 現状値	25年度 現状値	27年度 目標値		
みんな毎日しっかり「朝食」	1	私たち一人ひとりの健康的な生活の基本として、「みんな毎日しっかり『朝食』」の実践を目指します	朝食をほとんど毎日食べる市民の割合	就学前児童	93.6%		100%	
				小学生	90.0%		100%	
				中学生	80.8%		90%	
				15歳以上	82.2%		85%	
				20歳代の男性	60.6%		70%	
				30歳代の男性	63.4%		70%	
			20歳代の女性	59.5%		70%		
みんなで食べて「楽しい食卓」	2	食生活をより楽しく豊かなものにすると同時に、家族や地域との絆を深めていくため、「みんなで食べて『楽しい食卓』」の実践を目指します。	食事を共にする家族や友人がいる市民の割合	78.4%		85%		
みんなそれぞれ「バランスのよい食事と適度な運動」	3	我が国の死亡原因の上位を占める生活習慣病の多くは、偏った食生活や運動不私たち一人ひとりの健康づくり、生活習慣病の予防のため、「みんなそれぞれ『バランスのよい食事と適度な運動』」の実践を目指します。	食育に関心を持っている市民の割合	77.2%		90%		
	4		「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている市民の割合	26.2%		60%		
	5		メタボリックシンドロームの予防・改善のために適切な食事・運動を心がけている市民の割合	66.1%		80%		
	6		肥満とやせの市民の割合	肥満	40歳代の男性	29.1%		25%
				50歳代の男性	27.4%		25%	
				やせ	20歳代の女性	20.0%		15%
			30歳代の女性	20.8%		15%		
みんな知ってる・食べてる「旬の野菜、京の食材・おばんざい」	7	私たち一人ひとりが、もっともったこうした知恵を知り、実践することを通じて、環境負荷の軽減、地元産業の振興や伝統的な食文化の継承を図るため、「みんな知ってる・食べてる『旬の野菜、京の食材・おばんざい』」の実践を目指します。	「京の旬野菜」供給量	9,657 t	10,330 t	10,300 t		
	8		地元の農産物を日頃から購入するようにしている市民の割合	44.6%		55%		
	9		京の食文化（行事食やおばんざい）を認知している市民の割合	50.6%		60%		
みんなで培う・育む「地域の食卓」	10	京都には、歴史と伝統に根差した「市民力」や「地域力」があります。「共汗」と「融合」をキーワードに、保育所（園）、幼稚園、学校、地域ボランティアをはじめ、食に関わる人々の様々な取組が重なり合い、補いあって、すべての市民に地域に根差した食育を広げていくため、「みんなで培う・育む『地域の食育』」の実践を目指します。	食育指導員の養成数	56人	254人 ^[26年]	300人		
	11		「弁当の日」の実施校数	全市で1校	21校	各行政区1校程度		

(注1) 現状値の出典

1～6, 8～9: 平成22年度食育に関するアンケート調査(京都市)

7: 京都市産業観光局農林振興室農業振興整備課

10: 京都市保健福祉局保健衛生推進室保健医療課(平成22年度末見込)

11: 京都市教育委員会事務局

(注2) 目標値1の「100%」は、100%を目標として計画期間内の極大化を目指す意

目標値7は、京の旬野菜認定農家による栽培計画量。「京都市農林行政基本方針」に掲げる平成31年度目標数値を各年度均等の伸び率で達成していくものと仮定して設定

